

(有)シラヤマ環境行動計画

平成21年 9月 3日

取組方針

有限会社シラヤマは、社会資本の整備とお客様のよりよい生活環境の創造をモットーに、顧客ニーズにあった土木工事・建築工事・管工事の設計・施工・管理を中心に営業しております。

また、当社の事業活動を進めていく中で、環境保全が重要課題の一つであることを認識し、地球環境との調和、地域社会との融和を図りながら進歩・発展していくことを目指してまいります。このため、私たちは、事業活動に伴う環境への負荷を少なくするために、以下の取組を社員一丸となって推進します。

- ① 事業活動中での省エネルギーと省資源（紙使用量の節減・節水）
- ② 施工現場、事務所における廃棄物の削減
- ③ 分別・リサイクル可能な製品の使用及び施工
- ④ 5S（整理・整頓・清掃・清潔・躰）の徹底

この方針に基づいて社員一人ひとりが自主的に環境保全活動に取り組むために、取組方針と取組目標及び具体的な取組内容を全社員に周知します。

平成21年 9月 3日

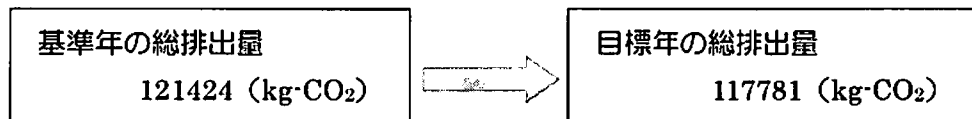
有限会社シラヤマ

代表取締役社長 白山 竜俊

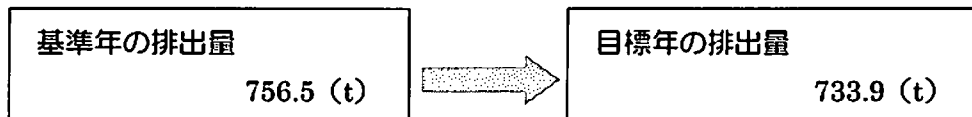
3 環境負荷の低減目標

22年に向けての環境負荷の低減目標は、次のとおりです。(数値的な低減目標についての基準年度は、いずれも20年です。)

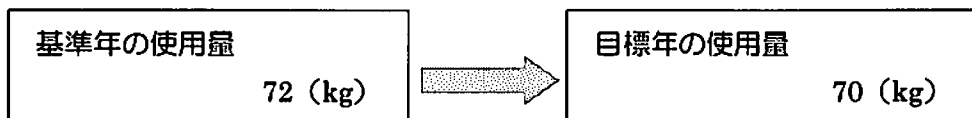
【目標1】 二酸化炭素の総排出量を3%削減する



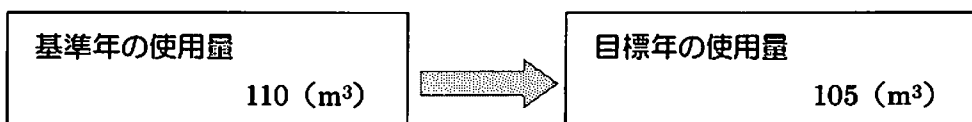
【目標2】 産業廃棄物の排出量を3%削減する



【目標3】 コピー用紙の使用量を3%削減する



【目標4】 水使用量を5%削減する



【目標5】 危険物・燃料の安全管理を徹底する

4 環境保全に向けた具体的な取組

【取組1】 二酸化炭素排出量の削減

(現場部門での活動)

- ・ 昼休みと休憩時間には、コンプレッサー等、使用していない機械の電源を切る
- ・ コンプレッサーのエア漏れを定期的に点検する
- ・ 使用機械の回転数を適切な数値に設定する
- ・ 使用重機の効率的な作業工程を設定する
- ・ 使用重機のエアコンを適切な温度に設定する
- ・ 作業効率の改善により残業時間を少なくする

(事務・営業部門での取組)

- ・ 事務室の空調温度を適正(冷房時28度、暖房時20度)に設定する
- ・ 昼休み消灯と人のいない部屋の消灯を徹底する
- ・ パソコンとコピー機の節電機能を活用する
- ・ 社用車の効率的な使用(運転経路、相乗り)を徹底する
- ・ アイドリングの防止と無駄のないアクセル操作を心がける
- ・ 車の空調温度を適正温度に設定する

【取組2】 廃棄物の適正管理と排出量の削減

（産業廃棄物）

- ・ 廃棄物の分別仕様を再検討し、置き場を整備する
- ・ 現場から発生する金属くずは全てリサイクルする
- ・ 廃棄物管理票（マニフェスト）の管理を徹底する
- ・ 不良品・スクラップ製品の発生状況を記録し、掲示する
- ・ ウェス、軍手は使用限度を定め、無駄に廃棄しない

（一般廃棄物）

- ・ ごみの分別を徹底し、リサイクル・リユースに努める
- ・ 排出する廃棄物の重さを計り、記録する
- ・ 生ごみをコンポストで堆肥化し敷地内の植栽に使用する
- ・ 詰め替え可能な製品、簡易包装の製品を優先的に選んで購入する
- ・ 製品をできるだけ長期間使用する

【取組3】 コピー用紙使用量の削減

- ・ 両面印刷、両面コピーを徹底する
- ・ 使用済み用紙の裏面を利用する
- ・ 書類、資料の電子データ化を進める

【取組4】 水使用量の削減

- ・ 配管からの漏水を定期的に点検する
- ・ 手洗い場に節水を呼びかける標語シールを掲示する
- ・ 洗車用のホースに手元コックを取り付ける
- ・ 水道蛇口に節水こまを設置する

【取組5】 危険物・燃料の安全管理

- ・ 危険物・燃料・燃料携帯容器は、決められた保管場所に保管する
- ・ 危険物・燃料・燃料携帯容器は、確実に蓋をする
- ・ 保管庫からの危険物・燃料の持ち出し量を記録する
- ・ 危険物・燃料を取り扱う社員に対して定期的に安全教育を行う

【取組6】 その他の取組

- ・ 毎月、全社員による現場総点検を行い、5Sを徹底する
- ・ 製品、材料、工具は、決められた場所に返却する
- ・ 大型機械を扱う作業は、夜間・休日に行わない
- ・ 社員による技術提案制度で、環境への取組についても提案を募集する

5 環境行動計画の実施体制

社長を委員長とする環境活動委員会を設け、四半期ごとに取組目標の進捗状況と具体的な取組の実施状況をチェックします。